

渦巻き銀河の模型作り

吉田由梨香（高2）、小原彩花（高1）、児島亜理沙（高1）
滝口加奈子（高1）、中山茜（高1）、宮下由佳（高1）

【星野高校天文部】

1、はじめに

2011年ジュニアセッションで私たちの先輩が、銀河の模型作りをやりました。前は、だ円状銀河でしたがレベルを上げて渦巻き銀河に挑戦することにしました。前回と同じ材料を使って模型の製作を始めました。

2、使った材料

- ・ 発泡スチロール球（ダイソーで買ったしっかりビーズ約60g一袋とホシノフレンより購入したやや小さい粒のもの一袋350g）
- ・ 蛍光インク（カインズホームにて購入）
- ・ 針金（直径約0.35mm）



蛍光インクで染めた発泡スチロール球

3、方法

①染める

直径5mmの発泡スチロール球を6色に蛍光インクで染める。銀河は中心の渦巻きをピンクにし、外側にいくにつれて青くしていきました。



スチロール球を針金に刺しているところ



染めるためのインクを出しているところ

②設計図を書く

設計図は国立天文台広報普及室 M101（おおぐま座にある渦巻銀河）の渦巻き銀河の写真をもとに、図を書きその銀河で使う球の数を数えました。その結果全部で発泡スチロール球53494コ、針金を8853本使うことが分かりました。



写真から作った設計図



みんなで作業をしているところ



袋に入れたスチロール球を蛍光インクで染めているところ

今は製作の途中ですが、完成は3月中旬頃を予定としています。かなり大変な作業なので他の班の人たちに協力してもらって早く完成させたいと思います。